愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月十日廿五日發行

（定價）一枚參錢五厘　一ケ月分七錢　三ケ月貳拾壹錢　半年分四拾貳錢　一ケ年分八拾四錢　全國無遞送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增

廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麹町區下二番町三十七番地　大日本女學會内　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社説

救世者は誰ぞ

世の中が輕佻浮薄となり、小才子小策士の徒のみ多くして、堅忍不拔の精神を有する士は、寥々として晨星も啻ならざる有樣である。學術技藝の修養は固より必要であるが、精神の練磨はそれよりも尚ほ一段も二段も大必要である、縱ひ學術技藝に達して居ッても、精神の薄弱な者は決して用を爲さぬ。今日、教科書事件を始めとして、種々醜い事件が起ッて居るが、探し出せば尚ほ此上制限もなく、同樣な醜事件があると世間で噂して居る所の醜行の徒は、大抵相當な教育を受けた物事の分ッた輩であるにも拘らず、精神が薄弱である爲に惡い事と知りつゝ、自分の慾を制する事が出來ないからである。斯樣に一時をごまかして旨い事を仕樣と思ふ輩のみ多くなり、官吏も議員も實業家も眞面目に働く者は、段々跡を絶つ樣になッては、國家の前途は如何であらうか、たまく高潔なる士があッても世に容れられず、自分にも亦滔々たる濁流の中に漂ひ、紛々たる臭氣に襲はるゝを苦んで、彼の四皓七賢の如く山中に隱れたり、竹林に遁れたりして仕舞ふであらう。今日の人心腐敗は既に其膓が腐り、病が膏肓に入ッて居るから、容易に治療の效を收むべきでない。されば今日に於ける幼年者即ち家庭の訓育を受けつゝある國民の繼承者に對して、今より十分なる防腐劑を施し、其精神を强健に訓諫して、世の厭ふべき流行熱にも、恐るべき黴菌にも侵されざる氣遣ひのない樣に豫防するより他に救濟の好手段はあるまい。

婦人方が其一身を犧牲にして、子女の養育に從らるゝ眞心は、世に最も優れたる心であッて、佛の慈悲にも聖人の仁にも、基督の愛にも、決して讓らざるものであると思ふ。此眞心を以て子女が精神を訓練せしめたならば、如何なる執拗頑迷な子女でも、遂には其德に感化されるのである。學藝の修養は之を學校教育に托して足る、然れども精神の訓練は是非とも家庭教育に由らざるべからずで、殊に今日の時勢に於て、大に母たる人々の奮勵を要する。

堅忍不拔の精神が、如何に働きを爲し得るかは、遠く其例を求むるに及はず、我會の主唱者奥村刀自を見られよ、纖弱なる一婦人の身を以て、曩には虎の伏すてふ淸韓の野を跋渉し、爾來我會擴張の爲に、日本全國に遊説し、皇國最第一の婦人大團躰を起して、國家に貢獻して居られるではありませぬか。世の婦人方が刀自の勇ましい精神に倣ッて、其子女の訓練に勵み給はゝ、能く今日の惡風を一變し、救世の効を收むるとは、決して望めぬとでないと考へる。

◎儉約

衆議院議員　江原素六

本篇は去にし十五日東京市教育會に於てものせられたる演説の大要なり文字の責は記者にあり

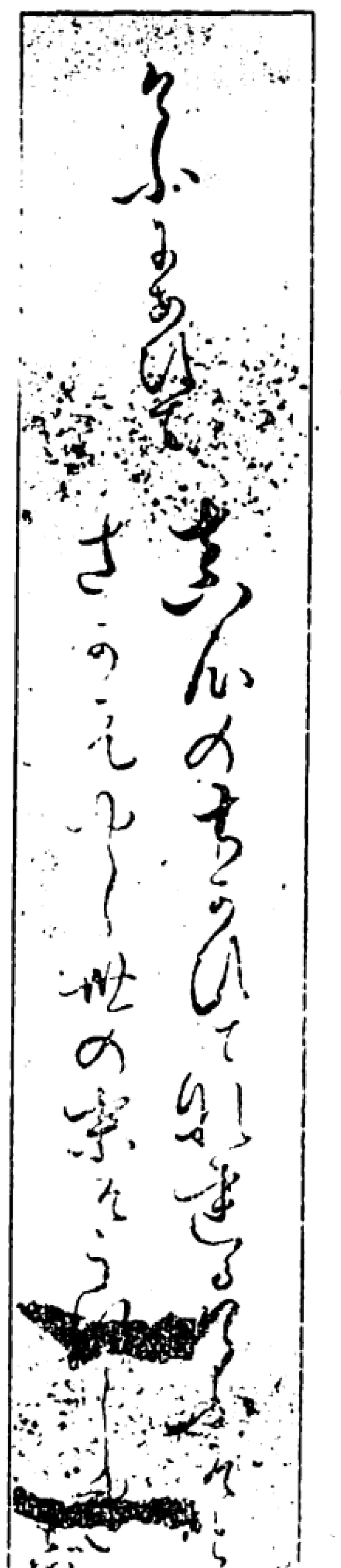
○米國の繁榮は國民の儉約に基す」米國今日の發達は儉約の結果である。昔時製造所に於ける製造小屋と云ふものは頗る質素なものであッて、電信柱の如きものは、始めの内は曲ッてしかも枝のある木を使用したとの事である。之は物が役に立ちさへすれば、見かけはどんなに惡くてもよいと云ふ主義から割出したものである。處が日本では萬事外形にばかり注意して、其内容に注意しない。吾國民の風俗道德其他の萬事いづれも維新前よりは余程進歩して居るが、其進歩の仕方が米國の如く着實でない。地方に往ッて見ても學校の建物は立派であるが、内部の設備は整うて居らぬ。百姓の衣服住居は立派になッて居るが、田地に於ける肥料の小屋は元の儘である。絹張の蝙蝠傘を買ふ百姓はあるが、農具に數十圓を投ずるものはない、從ッて馬なり牛なりを改良する事に注意が届いて居らぬ。是は畢竟外形の事にのみ金を使うて實用の事に金を使はぬ結果である。

○婦人の手は議會を解散せしめぬ力をも有す」日本の前議會は僅に一億萬圓の海軍擴張費の支出が出來ぬ爲に解散になり、今度の議會でも此支出が出來ぬ爲に余程困んで居る次第であるが、婦人が少しく儉約と云ふ事に注意せらるれば、大變な効能のあるものである。臺所の薪炭油でも、一ケ月一家に五十錢乃至一圓の儉約が出來ぬ事はあるまい。一家に一圓の儉納が出來るとすれば、一年には日本國中で一億二千万圓出來る譯である。故に婦人方が少しく氣を付けらるれば、議會も解散せずして濟み、政府も議會も今日の樣に、僅かな金て困むには及ばぬ次第である。併し臺所の儉約と申して、洋燈も二分心のを用ゐよと申すのではない。これは勿論三分心五分心を用ゐて明るくせねばならぬが、太陽が出ても、まだ洋燈を消さないと云ふ樣な事のない樣に、注意せよと云ふ意味である。婦人か儉約して勤勉であれば、國の富む事は明白な事である。

○日本人は紙を麁末にする」得能印刷局長の話であるが、日本人程紙を麁末にする國民はない、人の集會した後、又は小學校の生徒の去ッた後に紙片の多いのは驚く可き事で、斯樣な事は歐洲では決して例のない事である。之は全國の學校で注意するだけでも五百万圓を外國に輸出する事が出來るが、今日では却て獨逸から盛に輸入して居るのは實に殘念な事であると申された。昔天正の頃、或大將が部下に暇をやる時に百兩贈與した其百兩の包紙を自分の手許に返ッて來た時、之を丁寧に皺を伸ばして、疊んで置たと云ふ美談がある、左樣な注意は今日でも必要である。

○金錢の出納を明かにする事」歐洲で國會議員を選ぶに當ッて、其人の學識なり德望なりを識別するは勿論であるが、又其人の金錢出納が明で正確であるかと云ふ事をも標準として選ぶと云ふ事である。故に歐洲では金の遣ひ方を自分の子供に見せても、妻に見せても差支のないと云ふ人、即ち會計帳を人に見せるとの出來る程の人は、立派な人格を有して居る人だと云ふ事になッて居る。日本ではどうであるか。主人の會計帳は細君に見せられず、細君の會計帳は主人に見せられず、况や他人には尚更恥かしくて見せられぬと云ふ有樣である。是は書生の時代からさうである、親から金を貰うて學問する時代からさうである。つまり日本の家庭に於ける大なる缺點である。何故會計帳が人に見せられぬか、不當な支出が附けてあるからであらう。是が即ち金錢を麁末に扱ふ事の確な證據である。どうか父兄教師より先例を示して金錢の出納を明にする事にして貰ひたいものである。

○不用のものを買ふべからず」婦人方は大丸の賣出とか、三井の賣出とか云へば、店に集うて左程必要でもないものを、唯安いからと云うて買ひ求める、之は余程間違ッて居る。昔から申す通り、どんな安いものでも、直に入用でないもの程高價なものはないのであるから直に役に立つものでなければ買はぬ樣に勤めねばならぬ。以上申した如く、一般に此儉約の風が盛になれば家も富み國も富み各種の事業も盛になるは明な事である。



宮城縣支部副幹事長　錦戸じゆん子筆

◎人の還暦の賀に松樹契久といふことを讀みてつかはしける

會長公爵夫人　岩倉久子

若松のわかゝへりぬるほど見えてさらにちとせの色ぞそひける

同評議員　中山幸子

六十路あまりいまひとゝせのとほぎをはじめとはしていくとせむかへむ

電話番町壹千三百三十番

◎本號には附錄として和歌山縣支部職員の寫眞を添へたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

◎動物虐待防止に就て

内務書記官　松井茂

社會の進歩に伴うて、人類が動物保護に注意するに至るべきは、自然の數である、我國にも近來動物虐待防止會といふ會が起ッて、婦人方も同情を寄せらるゝ人多しと聞き、甚だ喜ぶべき事と思ふ。然るに世の中には人類虐待問題の生ぜる今日に於て動物虐待を防止せんと企つるが如きは、事の緩急を過れるもので、人類虐待の防止は動物虐待の防止よりも、先になすべきものであると申すものがあるが、併し動物を虐待してはならぬと云ふ事を自から覺る樣になれば自然に人類の虐待すべからざるとを知る樣になるから、動物の保護は取りも直さす人類の保護を教示する具となる次第である。

扨我國に於て現今動物虐待に對して警察の取締は未た十分に行き屆いて居らぬ。例へば乘合馬車の馬匹なり、野犬撲殺なり、豚猪を屠殺の儘店頭に釣り下げてあるなど、改善を要するものが多い。よッて私は歐洲に於ける動物保護の有樣を陳べて御參考に供します。元來動物の保護と申すは不必要なる虐待に對して、動物を保護すると云ふ事てある。動物虐待を刑法上始めて禁する事に致したのは英國てある。夫から段々獨逸に渡り獨逸の刑法に規定せらるゝ樣になり、現今獨逸法では「何人たりとも、公然又は人の不快を惹起すべき方法により惡意を以て獸類を苛責し、又は之に暴行を加へたる者は（七十五圓）以下の罰金又は拘留を以て處刑す」とあり、其他に警察の取締法で種々禁じた事が多くある。次に動物保護會の始めて起ッたのは、英國倫敦に於てコルチン氏が創設したるに始まり、夫より獨逸に移り、獨逸では、現に二百有餘の保護會を有し、其會員は七万五千人に及び、又一ケ年の收入は五万圓ばかりにて、現に有する財産四十三万圓の多きに至ッた。是等の會は人性主義に依り、虐待方法の防止のみならず、家畜其他の動物を改良し、猶ほ吟鳥を保護するの目的にまて進んだ。故に今日では保護會の精神は單に同情、正義、施恩等の感情のみでなく、進んて保護の實行に依り、人類をして或は經濟的に或は道義的に之を奬勵し、殊に小兒等を感化して粗暴の擧動を防がんとするのである。伯林動物保護會の總裁には獨逸皇后陛下を戴いて居る。是等の會の働きによッて刑法の改正も出來、警察令も出ると云ふ有樣であッて、此會の功は中々大なるものである。現時我國に於ても警察上の取締も段々嚴重になッて、多量の荷物を積載して馬匹を鞭つか如き事は之を嚴禁し其貨物を減少せしめ、又は乘合馬車の馬匹を濫に鞭つか如き事あらは、動物虐待として告發する事になッて居り、營業者も此點に注意し段々面目を改める樣になッたが、未だ〳〵改善を要する點が多い。其他道路に斃死せる牛馬の取扱方法の如き、野犬撲殺方法の如き、歐米に於ては夙に相當の設備あり文明國たるに耻ぢざる裝置をして居る。是等は我國に於ても漸次改良して往かねはならぬが、私は我國の動物虐待防止會が將來伯林の如く發達せん事を望むと同時に、同情同感の念に厚き婦人方に於ても此會の爲に大いに盡力せられん事を希望する次第である。

◎婦人の躰質に就て

評議員　三輪田眞佐子

健全の必要なることは、今更言ふに及ばすして、自明の理ながら其の實の擧らざるに至りては、なほ默すべきにあらず、否健全の必要は比較上のものにて、健全の上にも健全を祈り、人生の幸福を増さしめざるべからす。今簡約に婦人の健全につきて必要なる次第を擧ぐれば、

第一、人類の天職を全うせんため　人類のこの世に生るゝや、をさ〳〵偶然にはあらじ、如何となれば既に生るゝに當りては、母の恩義を蒙り、以來社會に立つや種々の恩惠をば或は同胞より受け、或は國土より受く、故に人は倒れて後止む決心を以て、汲々として世事をつとめざるべからず。

第二、國民の本分を全うせんため　近時世界の大勢を察するに、强國は以て弱國を凌ぎ富國は以て貧國を制するは事實ならんが、然るに兵を强くするは國民各個の躰力に待つこと多きは明なり。又富國の源も健全なる躰質を有する國民の勞働力によらざれば能はざるべし。その他枚擧に遑あらざるばかり、健全の必要なる理は存せんも、其の實行に於ては母たるもの〻躰質如何に關係する少からず。然らは今日婦人教育に於て、躰質の健全を謀るより急なるものはなし。又おのれ屢々將來東洋の多事は起るならんといふを聞くにつけても、一日も躰育の忽にすべからざるを感ぜざるはなし。然るに何故婦人はこれまで躰育に心を用わざりしか、なほ今も躰育を言ひながら、躰育の實行に着手せざるか。甚しきは學校に入學せしときよりも、卒業せしときは比較上躰質を害せし痕跡を認めざる教育家あるか。又女生の躰格試驗に於て、殆ど全く或は肺部の足らざるもの、心臟に異狀あるもの、或は脊髓骨の灣曲せざるものなきが如し。更に廣く世間を見渡せば、婦人の五十六十の坂に達して、汲々乎として人事をつとむること多からざるべし、即ち廢人同樣の婦人は如何に社會の多數を占むるか、これ皆國家の消長に關係する重大の事件ぞかし。眞に國家を憂ふるものは、この點に注意せざるべからず。但し婦人の躰質を養ふことを忽にする淵源は遠きところに存す、決して昨今其の必要を忘却せしにあらざるべし。由りて一、二左に其の淵源の主なるものをものせん。

第一、効驗の一時に見えざるため　凡そ躰育上の効驗は三五年、少くとも五六ケ月の後にあらざれば、著しく顯はれざるを以て、時々刻々これを注意するを忘れ、遂に日一日と躰育を怠るに至るならんか。若し彼の日に三度の食を廢せば、忽ち飢を感するを以て、食を忘れざるが如く、躰育上の必要も亦、其の食事の必要と差別なきに、などか、これを忽にするか。蓋し其の必要の必要たるを感ずる度を異にするを以て、知らず識らず惰弱の習慣を作り、躰質の日々衰ふるを知らざるならん、思はざるべけんや。

第二、古來美の標準を誤るため　これまで美人とし言はゝ顏色蒼然たるもの、筋骨纖弱なるものを指しけん。由りて無識の俗人は勞を避けて、筋骨の肥大を憂へしが如し、從ひてこの淺ましき風俗の一般婦人界に影響し、漸次その躰質を害せしならんか。然れども、人の美は威儀の逑々たるにあり、動作の裕々たるにあり、故に今後の女子は、彼のつき標をする俗界の例に倣はずして、姿勢の正しき、躰質の全きを以て美の理想とせざるべからす。以上の如き方針を以て、婦人界の公論と定むることそ望ましけれ。即ち未だ女學校にある若年の女子は、半面に於て精神教育をすると同時に、半面に於て身躰教育をせざるべからず。然るに今日の父母たるものは、愛孃に學藝若しくは手藝を授くる必要を知るもの多からんも、其の遊戲及び躰操の必要を知らざるもの少からず、甚しきは躰操等を以て所謂おてんば婆の養成なりと妄評を下し、更に顧みざるものあり、從ひて學校に於ては、絶えて躰操等を課せざるものもあり、これ誤見の甚しきものにあらずや。況んや學校を出でたるものは、長坐の習慣を作り、庭園に下るだに希なるものあり、勿論家事の多端なるものは、運動の餘暇なきこともあらん、故におのれは輕快に身躰を使用し、つねに運動の必要あるを忘れずは、おのづから躰質の發達を見るならんと信じぬ。近來國運の多事を思ふにつけて、大に感ずることあり、由りて思ひ出づるまゝを斯くなん。

◎軍人遺族救護意見

陸軍歩兵少佐　伊豆凡夫　談話

戰死した兵卒の遺族扶助料は今日僅に一ケ月二圓八錢である、之で以て遺族が生活せねばならぬと云ふ事は、隨分無理な事である。每年靖國神社に遺族の參拜者が少いのは何故かと調べて見ると、全く衣服調度がないからであるとの事である。昔は國の爲に死せば家祿増加の恩典に預かッたものである。國の爲に死する事は、昔も今も異る處はない、然るに今日では遺族が食ふに困ると云ふが如き沒道理の事は世にない事と思ふ。國庫は十分に扶助せねばならぬのであるが、中々行屆かぬ、且遺族の狀況も同一のものでないから、實際の與へるのは平等に支給せねばならぬから、上の平等的給與をなさんとするには、博愛慈善的の會でよく之を參酌して與へねばならぬ事である。近來青年にして軍人志願の少きは、遺族救護の少いのも一の原因である、又軍人が貯財の精神を起すに至りしも此が原因である。文臣錢を愛し武臣命を惜むは國の亡ぶるなりと云ふ事があるから、軍人をして後顧の憂を絶たしむる方法を計らねばならぬ。且つ癈兵院の設立も、多年自分の唱ふる所で、之も本會にて是非設立せられん事を望む。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人傳

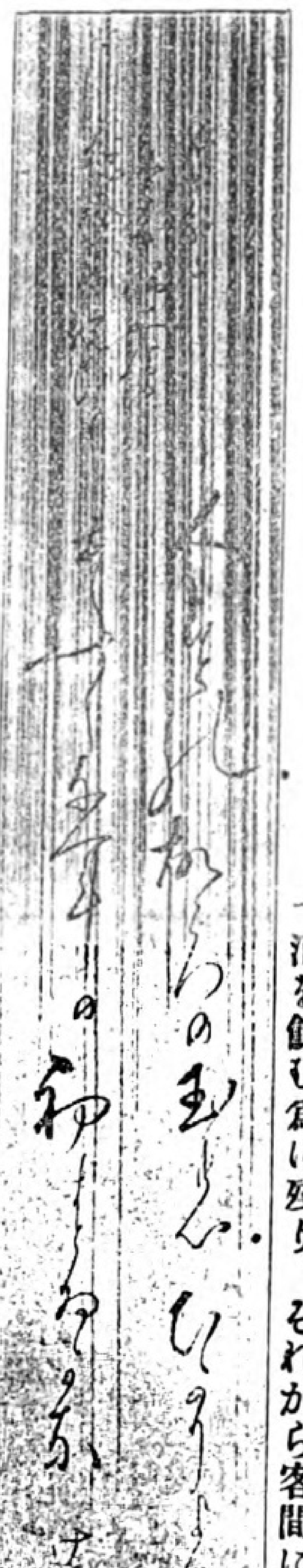
松尾多世子の傳（承前）

評議員　下田歌子

兎角するほどに各藩の浪士等多く此處に隱れ集へるよし、また幕吏の耳に入りて、たび〳〵推問の使を向けしめらるゝに至りしかば、諸有志いたく心配して、斯くては女史を長くかくまひ置かんとは、策謀のよろしきものにあらねば、暫時田舍に潜ますることそよけれとて、闇夜に乘じてひそかに海路を長門の國におとしやらんとぞ議しける。斯くして其準備やう〳〵整ひける折しもあれ、故里に殘し置きてし長男誠忍び參りて急に訴ふる所ありと云ふに、何事ならんとて急ぎ招ぎ入れて、對面してけるに誠が云ふやう『わが父徃ぬる頃より病みて臥戸に掻き籠り給ひにければ見等深く心をつくして晝夜油斷なく看護奉りて候へども、つゆ其しるし無くて、次第々々に衰へもて行かせ給ふなり。御自らは我れ斯うかよわくなりて國の爲に身を致すことも難きを、せめては妻の志をだに助けて、遂げしめんと思ふなれ。われは汝等が孝なる看病によりて更に何一つ、不足を感ずることもあらぬを、いかで、我が病み衰せるさまを、妻にな告げそ。と制し給ひつれども、御病日に日に重らせ給ふが心もとなさに、推して下降し候ひき』と涙をうけて申しけるにぞ、多世女が驚き一方ならず今は身の危きを顧みて、とかう思ひ廻らすべき時にあらず。兎にも角にも、良人が生前に一目なりともあはまほしく候へばとて、危ぶむ人々の言をも用ひず、子息誠とたゞ二人みすゞ刈る信濃路さして出で立ちければ、同志の誰れ彼れ示し合せて竊かに見え隱れに追從しつゝ、其旅途をこそまもりにけれ。

斯くて、女史は恙なく、故郷伊那郡に立ち歸りて、病み臥す夫に對面して、久しき不在を詫びなどするに、夫も、さすが夫妻の情とて、いたく珍らかなる面會を悦び、其夜は氣分いつに無く、最とこゝちよげに見えたりけり。さて後は、多世女は、一意專心病夫が看護に餘念なく、手に手をつくして、かしづきける驗にや、一旦は、此世のものとしも覺えぬまで衰へはてし病人も、枯木再び春に遇ひて、恰かも薄紙を剝ぐがごとく、一日々々と愈りもて行きて、今は折々に臥戸を離れて、家の內、緩歩するばかりにも成りぬ。斯かりし程に、志士のこの家に出で入りする者、やう〳〵に多くなりて、且つ爰に潜伏止宿する人さへ、數十人に及べりしかば、雲深く道幽かなる、あし引の片山陰にも、人目の關は戸ざすによし無く、つひに幕吏に怪まれて、長男誠は江戸町奉行の招喚をうけ、宿預けと云ふことを申し渡され、しば〳〵糺彈せられにけり。

然れども、兼ねてより、母の深く仰せつることありしかば、誠はかたく口をつぐみて唯知らず〳〵とのみ答へ申しき。領主の殿斯くと聞きて、多世女が志を、常にいとほしくも、健氣にもおほされたりしかば、心きゝたる家臣をして、吏をさまざまに申し宥め、辛うじて、救はるゝことを得たり。



宮城縣幹事　石山けい子筆

◎英國の家庭

文學士　下田次郎

○英國の家庭は最も趣味あるもので、一國擧ッて家庭に於て樂を求むると力めて居る。家の裝飾でも頗る趣味があッて、恐らく世界に於て、此位飾ッて居る所はあるまい。一體英國人は保守的であるから、室內にも先祖代々から傳ッた器具、名譽の紀念物を初め皿、鉢に至るまで悉く裝り立てゝ恰も小さい博物館に這入ッたやうな趣きがある。さうして多く油繪の額を掛けて居る、是は他の邦の家では少ないことで、英國の家の應接間に這入ると、先づ是等のものが眼に付く。室內は頗る綺麗にして、其一家族の趣味が分かるやうにして居る。獨り裝飾ばかりでなく、衣服の如きも、別に良いと云ふ譯ではないが、はしたない風をしないで、何時でもチヤンとして居る。我邦の如きは、兎角內外表裏が甚だしくて、人の居らない場所に於ては、婦人が髪や衣服を取亂して居るが、英國では此內外の別が甚しくないやうである。それで外出するにも、日本では直ぐ着物を着換へるが、向ふでは多くの場合に於ては其儘で出る、さうして衣服も質素で主に金巾や毛織である、日本は貧乏な癖に、女は外往きと云ふと、大概絹服を着けて、分に應じて身の裝をすることを知らない。女子の服裝は單に其形の改良のみならず、同時に其の質の改良が必要である。英國の家庭は最も良き婦人を作り出す、男子が情愛深く信實であるやうに、女子は男子を皷舞し高潔ならしむる力を持ッて居る。

○英國の晩餐會　英國人が晩餐會に客を招いて食を共にするは、數百年來行はれたる一の儀式になッて居り、此會に人を呼び、又は自ら招がるゝよりも、大なる名譽を與へられ、又は受くることはないとして居る。會食者は貴婦人が食卓を去るまでは、椅子に着いてをり、紳士は今一時間葡萄酒を飮む爲に殘り、それから客間に於て貴女に接し珈琲を飲む、此晚餐會は英國に於て最も發達せる所謂坐談を作り上げるものである。英人は實に話が旨くて、種々な賢い目論見、通俗科學の斷片、實際的發明、いろ〳〵の滑稽、政治文學、個人に關する新聞、滊車、馬、ダイヤモンド、農業園藝、養魚、葡萄酒、何でもの話が茲に上るのである。斯かる席上に於て立派な人々に接し、色々のことを聞き、或は見るとの利益は少々でない。顧みて我國人士の晚餐及其の後の光景はどうであるか、少し醉ひが廻ると立派な紳士の口を突て出る話は、醜猥聞くに堪へざる事計りて、其說を傾聽して其人物を仰ぐ程の話は藥にしたくもない。趣味、敎育なきのいたす所、氣の毒の次第なれども、廣く行はるゝ料理屋での宴會の如き、今少し趣味あるものにしたいのである。

◎婦人と精神との關係

米國哲學博士　山口三之助

本篇は此程帝國教育會に於て演說せられし要領なり

○丑の時詣りの効力　人間の心理的作用と云ふものは面白いものであつて、人間の心の働きよりして肉躰に著しく變化を及すものであります。梅干が食べたいと思へば自然唾液が出ると云ふことは、總て心と身躰の關係が合躰するからであります、で此事を極端に應用すれば、若し人間に一つの死と云ふ觀念を與へますれば、此觀念のために一つの生理的變化を起して、人間は死ぬものであると申します。先づ例を以て申せば、丑の時詣りである、之れは皆樣か繪に見たり話しに聞いたりして知つて居りませう、頭に三本の蠟燭を付けて夜の丑滿頃に當りて、手には鐵槌と針を持ち、憎むへき婦人の寫眞なり繪像に其釘を打込のである其目的は自分の憎む繪像の人物を殺して仕舞ひたいと云ふ熱心が凝り固まりて、聞くも恐ろしき呪詛となつたのであります、扨て此丑の時詣りが、果して有効なものであるか、其憎んで居る所の人を殺す事か出來るか出來ないか、之は面白い研究の題目である、學問が進んで今日ではそんな馬鹿な事はないと言ひ、又人も信んじないで幸に丑の時詣りをする人もないのは喜ぶべき事でありますが、學問上から云へば之れがどふ云ふ工合に有効であるかと云ふと、それは別に其人の寫眞を打付けたから、頭が痛んで來たと云ふやうな直接の結果ではない、一種の精神作用を起すからであります、則ち自分が大層憎まれて居ると思つて居る所の一の婦人がある、自分のなした事によつて彼の婦人が憎んで居ると始終心に思つて居る、成る程自分は彼の婦人を除いて今の夫に嫁附いたのである、して見れば彼の婦人は己れを呪ひ殺さうと思つて居るのは仕方がないと思つて居る其矢先に段々と風の傳ひに自分を憎む婦人は、此頃夜な〳〵丑の時詣りをすると聞くと、さてはいよ〳〵自分を呪殺すのであるなと、心にしみ〳〵這入り込んだならば、もう丑の時詣りが有効です、即ち効力があるので、丑滿頃になると、自分の頭に釘が透るやうな心持ちになり、一種不可思儀の作用を起すやうになり、それが夜な〳〵重なりますと、其人の精神か錯亂して斃れるやうになるのです、是れは有効なとて皆樣に御勸め申すのではありません、學問上の話りであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衛生　食物

菓子　日本流の菓子は食物として滋養分を取る目的にあらず、之を來客にすゝめ又は兒童の間食とする習慣なり、之を大別して乾菓子、蒸菓子の二種あり、大抵百分の三十以上の糖分を含み、其の甚しきに至ッては、砂糖のみを以て製せるあり。即ち氷砂糖、金米糖、有平糖など是れなり、從來其形にのみ着目して衛生上に考へを及ぼさゞるは大なる缺點なり。

牛乳　動物性食物は概して蛋白と脂肪とに富み、植物性食物はおほむね糖分粉質を多く含めり。故に人は必ず此二種即ち肉類穀類野菜を混食するを要す、若し一方に偏する時は身躰の爲によろしからず。唯乳汁のみは動植兩性の總べての成分を具有し且つ其分量の調合も、自然に適當にて、小兒は是れのみにて發育し得るやうに出來居れり。されども大人が是れのみを用ゐて生活せんとするには、一日に二三斛の量を要するが故に、到底胃の消化力之れに堪へざるなり、唯病人など消化力の弱き者ならでは、大人には左まで其効なきものなり。

乳汁中にては人乳に若く物なけれども、人は唯二個の乳房を有し一人の兒を養ふ量に過ぎざれば、其兒以外に之を用ゐるの餘裕なし、されば便宜上牛乳を代用せざるべからず。牛乳は人乳に比して糖分少なき故に、小兒に與ふる場合には注意を要す、即ち牛乳壹合につき角砂糖一個位之に混合すべし、而して之を用ゐるに當り必ず五分間以上沸騰しめ、表皮の出來ざる樣注意すべし。

卵子　卵子は雞鶩を最も普通とす、其の卵白は蛋白質百分の十三にて、少許の脂肪と鹽分とを含み、其他は皆水分なり、卵黄は蛋白質百分の十五、四脂肪百分の二八、八灰分百分の一、七あり、其吸收せらるゝ部分は百分の九十五にて、最も滋養に富み、吸收の良き食物なり。然れども其卵殼に細き孔あるものにて、空氣出入し、隨ッて黴菌も自由に侵入するを以て夏季は腐敗し易く、其腐敗に傾きたるものは害甚し注意肝要なり。

◎家計收支の實況

東京　會員某報告

日外から家計收支の實況御記載になりますが至極結構の事と存します、私は至て未熟で御座いまして、誠に御はづかしう御座いますが、何卒御批評下されませ。

明治三十六年一ケ月分平均額

一家族　四人　但し夫婦（兩人共教員）子供一人（學齡未滿）下婢一人

一金四拾四圓也　收入高
一金四拾壹圓五拾七錢也　支出高

內譯

家賃	金五圓八拾錢	湯錢及散髮代	金壹圓拾五錢
米代	金五圓	雜費	金壹圓
薪炭代	金壹圓	醫藥料	金壹圓
牛乳代	金壹圓八拾錢	交際費	金貳圓五拾錢
菜代	金三圓	被服費	金四圓五拾錢
醬油代	金五拾錢	所得稅月割	金八拾六錢八厘
味噌砂糖等	金四拾五錢	生命保險掛金	金貳圓拾壹錢七厘
石油代	金三拾錢	主人小使（交際費等を含む）	金六圓
電燈料	金三拾六錢五厘	自分小使	金壹圓
新聞代	金三拾二錢	小供小使（菓子其他）	金壹圓
通信費	金貳拾錢	下婢給金	金壹圓五拾錢
衛生費	金貳拾錢		

殘金貳圓四拾參錢

評　此の支出中食費に屬するもの、總支出額に對して二割八分餘に當り、家賃は一割四分、衣服費は一割一分、點燈料は一分六厘にて、合計五割五分許となり、其以外のもの四割五分なれば、米國に於ける千二百弗（貳千四百圓）以上の收入ある者よりも、尙ほ上等なる割合なり。富の程度に著き懸隔あるが故に、我國にて五百餘圓の年收ある人は、米國の二千四百圓の人よりも比較的上等の生活なるべし。されば此の支出の割合は當を得たるものといふを得べし。然しながら、四人家内にて三圓の菜代五圓の米代などは少額に過ぐる樣思はる。一人は子供としても、成人三人にて、一ケ月米三斗は入るべし。一圓に五升の米にても、三斗なれば六圓を要す。故に七圓位は是非かゝるべしと思ふ。此の報知者は如何なる仕方にて五圓にてすませ給ふか、願みて敎を請ふ。

◎各地特殊の料理（寄稿を募る）

（二四）蘘荷の田樂　新潟縣中魚沼郡　愛讀者報知

めうがを縦に二つに切り、串にさし、油をひきて燒くこと二三度にして、別に味噌に胡桃を入れて擂鉢にてよくすりまぜ、右の蘘荷にぬりつけてあぶるので在います、御飯の菜に宜しいものです。

（二五）實山椒の佃煮　播磨國會員　某女報知

山椒の實の若きもの、即ち燐寸の頭よりも尙は小さく柔かなる頃を見はからひ、房のまゝ能く不潔物なき樣丁寧に洗ひ、湯煮をして三日程も日に乾し、又洗ひて上等の醬油に味淋又は砂糖をよき程に入れ、文火にて煮つめるなり。風味よろしく能くいつまでも保つものなり。

（二六）山吹鯛　備後會員　某報知

鯛を三枚におろし、其肉の處を味噌漬にし三日程もたちて漬き加減を見はからひ小さく刺身につくりおき、別に煮玉子をこしらへ、其刺身にまぶりて用ゐるなり。編者いふ。此料理は報知者に於て其名前を知らざるよしいひおこせられたれば、編者が假りに山吹鯛の名をつけたるなり。

（二七）うづみ　尾道會員　無花香女

鍋に水と醬油とを入れて煮立て、其中に蝦を入れて煮あげ、さて、蝦を取出し、其鍋に水をたして汁をうすめ、常の清汁位に致します。其汁の中へ里芋の湯煮したると、豆腐の三分位の采の目に切りたると、松茸と葱とをよき程に切りたると、前の蝦の煮たるとを入れて煮あげ、鍋の下に少し火を置きて汁のさめぬ樣にしおき、扨御飯の用意をし、碗の中に前の汁の實をそれ〳〵入れ、其上に御飯を盛りてうづめ、其上より汁をかけて食べるので御座います。

◎臺所問答（一）

とこなつ

問　燒いて味噌をつける料理を何故デンガクと申すのですか。

答　デンガクとは田樂豆腐の略語で其豆腐を串にさした形が田樂をする法師が竹に昇ッて高足の技を行ふ姿に似て居る所から命けた名だと申します。本來田樂といへば田樂豆腐に限ッたとであッたのを、炙ッて味噌をつける料理は、皆田樂と申す樣になつたものと見えます。魚類を燒いて味噌をつけたのを魚田・即ち魚類の田樂と云ひます。

因に申しますが、田樂の起りは、農夫が耕作の勞を慰める爲に、笛、太鼓で可笑しな技を演じたので、即ち田舍の舞樂であッたが、轉じて法師の業になり、腰鼓・銅鈸・編木・高足・弄玉など種々の技を行ふやうになり、殊に鎌倉室町の時代から大層盛んで能藝となッたが、猿樂の能が起ッてから衰へたと書物に見えます。

問　竹輪の形が蒲の鉾、即ち蒲といふ水草の花に似て居るから、蒲鉾といふのだと聞いて居りますが、ハンヘンとは何ういふ譯ですか。

答　是れは昔の駿府今日の靜岡市の料理人に半平といふ人が居りまして、其人が薯蕷をすッて魚肉に混ぜ合し、一種柔かな蒲鉾をこしらへ始めました、それをハンペイカマボコと申しましたが、略してハンペイといふ樣になり、それが訛ッてハンペンとなつたのだと申します。

問　カボチャといふ名の起源を伺ひたひです。

答　南洋の Cambodia といふ處から渡來したので、其地名が瓜の名となッたのです、故に漢字にも南瓜と書きます。

問　タウナスと、カホチャとは物が違ひますか。

答　違ひません、同物です。東京でカホチヤ、京都でタウナスビと云ふのです。

問　西國ではホウブラとも申すさうですが、是れも同物ですか。

答　是れは元來は違ひます。ホウブラといふ分は丈けの平たい、蔕の處が窪んで居るので、カボチヤとかタウナスビとか云ふ分は、頸があッて壺の恰好をしたのだと申します。序に申しますが、ボウブラとは南蠻語であらうといふ事です、天正年間に渡來したものです、大阪ではナンキンとも云ひます。

問　生荷と名荷とは、草の形もよく似て居る上に、名まで、似て居りますが、何か譯のあるとですか。

答　メウガは古名メカといふのが延びて、メウガとなッたのである、又薑の假名遣ひは、シヤウガともセウガともありて、判然せぬのです。依てメカは「女か」でせうが、「夫か」の延びたて、男性女性に比した名であるといふ說がある。兎に角面白い說であると思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◉評議員會　本月及び來月中の評議員會は、左の日割の通り開會す。

五月二十七日（第四水曜日）第一の組
六月三日（第一水曜日）第二の組
六月十日（第二水曜日）第三の組
六月十七日（第三水曜日）第四の組
六月廿四日（第四水曜日）第五の組

◉評議員會の景況　本月十三日第四の組評議員會に出席せられたるは、岩倉會長始め濱尾作子佐藤僊子柳谷千代子關むら子中山幸子、仁杉歌子の各評議員諸氏なり。又二十日第五の組評議員會には谷理事始め山内禎子神山万佐子山脇房子弘田增子松平須磨子中山幸子佐藤猶子仁杉歌子豐島文子の各評議員及び堀内佐々木の兩主事出席せられ、谷理事より京都大會の景況を報告せられ、其後會務の協議ありたり。

◉主事交代　本會主事松原陸三郎氏は家族に病者あるを以て其職を辭せられ、新に後備陸軍步兵大佐門司和太郎氏主事に任ぜられたり。

◉神奈川縣支部發會式の延期　本月廿四日擧行の筈なりし同發會式は横濱にペスト發生せし爲、總裁殿下御臨場を仰ぐを遠慮し、同日の式を延期し、來六月下旬に於て擧行の事に決定したりと云ふ。

◉鹿兒島支部發會式景況　本會鹿兒島支部に於ては、本月十六日午後三時より鹿兒島市延喜館に於て、第一總會を兼ね發會式を擧行せり。今其景況の大略を、項に分ちて記すれば左の如し。

○會場は延喜館の大廣間を以て是に充て、總裁殿下の御諭示は、一段小高き處の白布を以て覆ひたる卓の上に安置し、其の前面に演壇を設け花瓶を据ゑたり。又場外には委員の人々は來賓に會券を渡し、又は設の控席に案內せるなど凡の準備は殆ど遺憾なく調へられ、軈て、午後三時を報ずるや、第一點鐘にて會員着席第二點鐘にて職員着席第三點鐘にて來賓の着席を報ずるや嚠亮たる音樂は奏せられ、一同着席了るや幹事坂本少將夫人開會の辭を陳べ、中藤事務員事務報告を爲し、次に幹事長千頭とく子氏は演壇に進み、諸員起立敬禮の間に恭しく左の御諭示を朗讀せり。

總裁閑院宮妃殿下御諭旨

愛國婦人會鹿兒島支部に於て發會式を兼ね總會を開催すと聞く誠に喜ばしき事なり是より諸氏同心協力此の忠愛慈善の美擧をますく擴張あらんことを望む

次に副幹事長島津鶴子氏は左の答辭を朗讀せり。

こたび愛國婦人會鹿兒島支部發會式を兼ね總會を擧くるに當り本會總裁閑院宮妃殿下優渥なる御諭旨を下し賜ひ支部の光榮たとふるにものなく誠に有り難き極みとや云はん今より益々協力して一層本會を盛大にし以て臺慮に副ひ來らん事を期す謹て答辭を奉る

愛國婦人會鹿兒島支部幹事長代理
副幹事長　島津鶴子

次に幹事島津さえ子は岩倉會長島津理事の祝電を朗讀し次に、來賓として千頭知事阪元少將岡野東本願寺別院管事の祝詞演說あり、次に幹事島津さえ子閉會の辭を述べ、一同敬禮之にて式を終へたるが、此の間絶えず音樂は奏せられ、式はいと嚴かに施行せられぬ。

○饗應　閉會と同時に來賓には會場に於て酒肴の饗應をなし、會員には茶菓を供したり。尤とも會員の喫茶所には、會場の外柳月浩然の二亭を特に借受け居れるより、閉會と同時に各婦人は何も思ひくに欲する處に向かひ茶菓を喫し、音樂隊又其の間にありて音樂を奏したれば、一入に光景を添へたり。

○會員と委員　出席者は來賓幷に會員を併せ、殆ど六百名に垂たる多數にして、あらゆる方面の人々を網羅し、就中市中商家の婦人其大牛を占めたり。委員の人々は數日前より東西奔走盡力至らざるなく、當日の如きも午前十時頃より會場に於て諸種の準備に忙しく、胸部に徽章を佩用して万事手落なく周旋されしはその心勞察するの外なし。

◉事務報告概要　同會設立の濫觴は、卅四年七月奧村主唱者遊說に始まり、同十一月始めて支部を置き、昨三十五年末には會員百四十九名に達せしも未だ著しき進步を見ず、然るに今回大會擧行に際し篤志者の奮つて贊同する所となり五百四十一名の多數を得、尚引續き入會申込者ある有樣なり。又三十四年より三十五年迄收入高は二百七十八圓餘本會へ送付高二百十七圓餘なりと云ふ。

○來賓　重なる方は島津男爵を始め千頭知事・鳥山裁判所長・市長・參事官・視學官・新聞記者・銀行頭取等にして會員にては樺山伯夫人も臨まれたり。

○散會　斯くて來賓及び會員は思ひくに酒肴或は茶菓を喫し、諸種の談話を交へて、いとも愉快に散會し、同地に於て近來になき盛會なりき。

寫眞附錄の人名（寫眞面の順序）

楠見節子　橘くすの子
折原覺子　樺山宮久子
奧村五百子　椿勢以子
九鬼幸子　茨木延榮子
加藤幸子　櫻井留以子
中村管三郎

◎奧村刀自遊說日誌

四月廿六日　午前十一時五十分橘邸を發し、折原參事官樺山副幹事長橘幹事楠見屬諸氏と共に腕車を連ねて、出迎の海草郡長同夫人及び木村郡書記に導かれて海草郡日方町の會場永正寺に到る。同二時半より開會聽衆約六百余名、即時三十餘名の入會者あり、同四時半閉會直に和歌山市橘邸に歸る。

同廿七日　午前八時半橘邸を發し、職員一同と撮影し、茨木男爵夫人樺山書記官同夫人折原幹事加藤市長同夫人九鬼郡長夫人橘氏等に送られて和歌山驛を發車し、那賀郡粉河町へ向ふ、椿幹事長櫻井折原橘の三幹事及び楠見縣屬諸氏と共に一同十二時同地に着す、中野郡長始め警察署長町役場員諸氏停車場に出迎はれたり。午後二時より三池坊寺院にて開會聽衆約八百名、即時入會者三十六名ありき、村松町長以下役場員大に幹旋せられたり。椿幹事長以下の出張員は同五時四十分發和歌山に歸られたり。

同廿八日　午前八時三十分三池坊出發、郡長町長學校員等停車場へ見送られたり。折原參事官同夫人椿知事令孃及び橘幹事と同乘して出發して、同十一時伊都郡橋本町に着す、佐々木郡長竹內奧谷窪田の三書記吉田警部佐々木幹事其他會員諸氏停車場に出迎はれたり。午後二時より同郡會議事堂に於て開會、聽衆三百餘名佐々木幹事祝詞を朗讀し了ツて刀自登壇す。同八時より町長堀江寅太郎氏邸に講話會を開く。此夜同邸に宿す。

四月廿九日　楠見縣屬の案内にて高野山へ參詣の豫定なりしも雨天のため中止し、午前八時堀江町長邸を發し佐々木郡長夫妻警察署長町長諸氏に見送られ楠見縣屬と共に和歌山に至り折原參事官に再會し別を告げて南海鐵道によりて午後二時三十分大阪難波停車場に着し再び廣岡氏邸に至り泊す。

同三十日　午後二時廣岡氏邸を發し同三十分大阪驛を發し兵庫縣須磨驛に下車し佐賀縣人松尾寬三氏邸に投ず。

五月一日　午前七時松尾氏邸を發し同三十分須磨驛を發し十二時二十分岡山驛に着す白阪視學官及び宰田武本兩縣屬出迎へられ旅館自由舍に投ず。午後二時より後樂園に於ける有志家の會合に臨み演說す一同大に感激す。又檜垣知事は今回同縣下軍人遺族に對する本會の贈遺を謝し將來大に盡力すべきことを述べられたり。當日出席者は檜垣知事荻原警部長西村參事官赤堀裁判所長田中檢事正荻尾警察署長小野御津郡長有森山陽新報主筆小田縣會議員中國民報記者檜垣幹事長葛荻原兩幹事其他岡山市有志者等なりき。

同二日　午後森谷縣屬の案內にて市內有志家二十餘名を訪問す。檜垣幹事長より梨一籠を贈られたり

同三日　午後一時より後樂園に於ける岡山教育會總會へ臨み演說す、次で大內靑巒氏演說せられたり。

同四日　閑院宮殿下愛媛日本赤十字社支部總會へ御臨場のため午後一時十三分岡山驛御通過につき奉迎す鍋島本會理事も御同車なりき。同二時より岡山縣師範學校に於て開會、聽衆六百餘名同五時閉會。幹事長以下幹事諸氏大に盡力せられたり。

同五日　午後二時より後園鶴鳴館に於て開會す。聽衆約八百名。荻尾警察署長及び正田檢事正の熱心なる贊成演說あり了ツて刀自登壇す。一同大に感動し閉會後入會申込者百三十六名。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷録事

◉東宮御西行啓御治定　皇太子殿下、同妃殿下は、博覧會へ行啓のため、愈々二十六日當地御出發、大阪へ行啓の事に御治定相成たり

◉皇女蠶業講習所御成　常宮周宮兩内親王殿下には去にし十七日西ケ原の講習所へ御成の上蠶業の模樣を逐一御聞取遊ばされたるよし。

◉獨逸皇族の御參内　來朝中なる獨逸皇族三殿下には去にし十九日正午御參内あり兩陛下と鳳凰の間にて御對顔の後、豐明殿にて御會食あらせられたり、御陪食は各皇族殿下獨逸公使及び同公使館員、宮相及び宮内高等官吏等なりき。

婦人論攷

◉下田歌子學士の日本の婦人　日本婦人は世界に於ける名物の一なり、其名物なりと云ふ所以は、外形的に服裝の美や風俗の美を云ふにあらずして、其性質の善良なるにあり、如何なる性質が善良なるやと云ふに、先づ日本婦人程良くかひがひしく立働く婦人は他に求む可からず。次には勇氣に富める事之なり、日本人の勇悍なる氣象は獨り男子のみならず婦人に於ても古來多く之れを見る。次は文學に長ぜり、日本の文學史上重要なる地位を占め居るは實に婦人にあり。又頗る忍耐強くして能く艱難に堪へ、殊に寡婦の如きは、其子女を教養する爲に一生の快樂を犧牲とするを辭せず。以上の如き諸點を以て、余は日本婦人を世界に於ける名物の一なりと稱するなり。然らば此名譽を荷ふ我か婦人は、よく此名譽を永く保存し、益々此特質を發達せしむる事を心懸けざる可からず、即ち第一軆育に注意して健全なる國民を作らざるべからず、特に女子の領分は情と涙にして、其尊ぶべきは婦德にあれば、其改良すべきは改良して、益す其光輝を發せしむるを努め、更に智育を盛にして大に從來の無識を矯めて、以て世界的日本の婦人たるを忘れざらんを要す。云々。(女鑑)

◉故西村文學博士の婦人の心得　日本の婦人は道德の點に於ては、男子より勝り又西洋婦人にも勝れり、是れ蓋し天性と教育との致す所なるべし。即ち慈悲深きと、事物に綿密なると、貞節を守ると、節儉なると、及び飲酒し亂行するとの少きと、此五點は吾婦人の優れる所なり。然るに婦人には又五個の短所あり、即ち多言なるが爲に一家の風波をも起すに至ると、疑心深くして他人の惡何を害ふに至ると、了簡の狹きが爲に些細の事に怒り或は悲しむと、怨み深きと、及び嫉妬深きと是なり。殊に嫉妬は婦人の特有ともいふべきものにて、幼少なる學校生徒杯にも、早く之を認むるを得るなり。故に婦人には五個の長所と、五個の短所とありと謂ふべし。然るに爰に不思議なる事は、男子は老ゆれば其心和ぐものなるに、婦人は反對にして、若き時柔和なれども、老ゆれば其心殘酷無慈悲となり、己の嫁を困むるなど尠しからざる事にて、誠に愼まざるべからざる也。尚ほ今日の婦人は、啻に一家を治むるのみならず、常に國家の事を念頭に置かざるべからず、殊に男子の活動すべき範圍の廣まるに從ひ、子女の教養は、昔時よりも一層婦人の手に待つに至りたれば、其責任更に重くなれり、且つ奢侈の風は其源婦人に在れば、殊に注意せざるべからず。又最も嘆ずべきは婦人の淫風の盛なることにして、藝妓其他の醜業を恥とせず、甚しきは海外に迄醜態をさらすものありて、爲に我國は支那朝鮮すら受けざる國辱を招けるを是なり。其源因は演劇小說又は三絃の如き種々あるべしと雖、要する子女教養の大任ある婦人の手によりて、之を如何ともなし得べければ、殊に注意すべき事なり。云々　(日本弘道叢誌)

雑報

◉海軍下士卒集會所　同集會所は昨年始めて横須賀に設立せしに、以來其成績好良なるを以て、本年に至り各鎮守府共之を設立する事となり、呉に於ては本月六日開所式を行ひたり。其模樣を聞くに同所は昨年四月の起工に係り、二階建一棟平家三棟と附屬倉庫等にして、所内には武術場遊戯室展覧室談話室食堂寢室浴室事務所等の設けあり。所長には梨羽大佐を戴き、幹事長幹事以下夫々海軍々人を以て其任に當らしむ。開所式當日は鎮守府司令長官第五師團長縣知事及び停泊軍艦艦長等來臨し、市中一般に國旗を掲げ余興等もありいと盛大なりしと云ふ。尚同集會所よりは毎日曜日に手刷の報告書を出だし、下士卒に便益を與ふる仕組ありとぞ。又佐世保に於ては本月九日開所式を擧行したるが、同所の建物は鎮守府開廳以前の假事務所を以て之に充て、所内の設備は呉港と同樣にして所長に中山大佐を戴き、開所式の當日は鮫島司令長官及び同夫人を始め、日高常備艦隊司令長官も臨席せられ、其他來賓二百余名にて頗る盛會なりしと云ふ。又舞鶴は來月初旬竹敷は來月中旬開所式を擧ぐる都合なるが、横須賀は最初に開きたるだけありて漸次に整頓し此程井上男爵夫人會長となり、下士卒家族共勵會といふを設けらるゝに至れる由なるが、其趣旨は夫の留守中に於ける家族の保護幷に是等の人々に相當なる手内職を與へ、勤儉貯蓄を勸むるを以て目的とするものにて、此會設置以來申込非常に多く、將來好良なる發達を期すべき望ありと云ふ。

◉日本水兵の母に有功章を贈る　英國のマクリン孃に對し、日本海員掖濟會より、左の表彰狀を添へ有功章を贈りたり。

貴孃夙に博愛慈惠の志篤く我帝國艦船の海員にして英國に到るもの貴孃の恩惠に浴せざるもの稀なり殊に本會保護の下に在る商船海員に對しては愛撫訓誘至らざる所なく爲めに其風儀を矯正し品性を保持するの功寔とに顯著なりとす仍て茲に總裁威仁親王殿下の令旨を奉じ本會所定の有功章を贈進し以て其奨勵を表彰す

明治三十六年四月三十日

日本海員掖濟會長
海軍中將從三位勳一等男爵　赤松則良

エム、マクリーン孃貴下

◉千島同情婦人會　同會は去にし七日齋藤海軍少將邸に於て幹事會を開き、發企人にて各方面を分擔し勸誘狀を發する事と定めたるが、同日席上自ら千島に赴きて同島の婦人を慰問したしと語れる夫人もありたり、併し兎に角先つ慰問狀を發することとし、去にし九日上野より靑森を經て函館に向ひ、千島初航便の葛城艦に便乘する、報效義會員吉田正平氏に其狀を託したり。同會は佐藤進氏夫人佐藤靜子、高木兼寛氏夫人高木富子の兩君等專ら盡力せらるゝよし也。

◉動物虐待防止會　は去にし十五日例會を學士會事務所に開き、幹事より動物虐待取締に就て警視廳と交渉の事、各地方に支會設置の事、同會叢書出版着手の事、及び四月以來の入會員内外人合せて五百餘名ありし事婦人部設立の事などを報告し夫より兒童の動物虐待、殊に東京市内淺草公園内に見る所の俗に所謂魚釣の遊戯を止むる事に付き、先づ注意勸告の書を其附近の學校へ送ることを決議し、又虐待と認むべき事項の取調を委員に囑托せり。同會は會費等を要せず婦人小兒にも入會を勸告し、會員たるもの自から責を負うて、動物を虐待する事を禁じ、他人の虐待をも防止するの主旨なりと云ふ。

◉凶歉救濟慈善音樂會　同會は去にし十六十七の兩日上野音樂學校に開きしが、兩日共八百人以上の來會者ありて盛會なりき。同日集まりし金員は東北地方及び富山縣へ回送する筈なりとぞ。

◉大日本婦人教育會　去にし十六日華族女學校に於て常集會を開き、巖谷秀雄金森通倫兩氏の講演ありたるよし。

◉博覧會の盛況　大阪なる第五回内國勸業博覽會は去にし三月一日に開會し、來ん七月卅一日まで、百五十三日間の會期なるが、今や已に其半以上の日數を經過したり。最初此博覽會の全會期中に三百萬人の入場者あるべしとの豫測なりしが、本月十六日まで即ち七十六日間(半日數)に、既に二百四十萬人に達し、間もなく全會期中の豫測人員に超ゆべき勢ひなり。又場内の賣上高は、本月二日(六十三日間)迄の調に、七万五千餘圓に達し、各府縣賣店の賣上高は大凡六十萬圓に達したりといふ。而して其賣上高は、日を逐うて好況に赴きつゝありとぞ。近年經濟界の一般不況なる折からにも拘らず、博覽會の斯くも好況を呈せるは誠によろこばしき事にこそ。

◉華族女學校　同校にては、去にし十七日午前九時より同校裏手の廣場にて春季運動會を催したり。來賓には、常宮、周宮、富美宮、泰宮の各内親王殿下、華頂宮妃、梨本宮妃兩殿下御臨場、其他來觀人一千餘名にて頗る盛況なりきと云ふ。

◉女子高等師範學校　同校附屬高等女學校にては、去にし十日春季運動會を催したるが、種々の遊藝競爭あり、いと盛なりき。

◉東京音樂學校　同校にては去にし十五日同校内に於て春季運動會を催したるが、園遊會に擬せし茶店の設け等もありてにぎやかなりしよし。

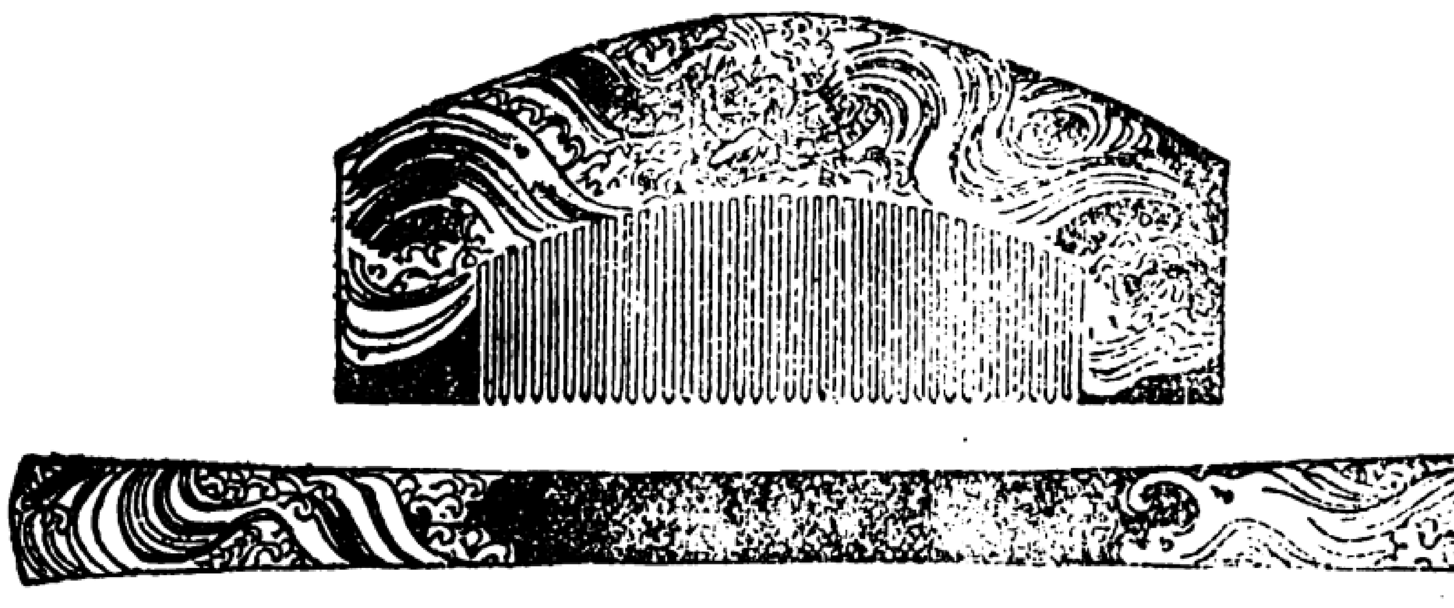
◉文部省の夏期講習會　本年の文部省夏期講習會開會の場所講習科目及び講師等は、去にし十六日の官報を以て定められたるが、高等女學校以上の女教員の講習科目は下田文學士の教育學、井口女史の普通體操及び遊戯等にして、兩科を兼習することを得る由。其他上田文學博士の國語學、白濱美術學校教授の圖畫教授法はいづれも東京に於て開講し、坪井醫學博士の生理衞生は京都に於て開講し、共に女子の講習を許す筈なり。詳細は同日の官報について見るべし。

◉松本文庫の設立　前の鐵道作業局長官故松本莊一郎氏の紀念として、今回古市鐵道作業局長官、犬塚鐵道局長、中村製鐵所長澁澤男、早川三井銀行理事、仙石九洲、松本山陽、南阪鶴、曾我日本の各鐵道會社長、村上臺灣鐵道部監督、作業局各部長、鐵道協會員等數十名發起となり、京橋區日吉町なる帝國鐵道協會内に松本文庫を設立する由にて、鐵道に關する内外の圖書、其他斯業に有益なる出版物を蒐集する目的なりと云ふ。いとめでたき企にぞある。

◉電話交換局の女子交換手　女子の職業として、最も適當にして又よく發達せしは交換手の業なり。一昨年來夜間勤務者にも女子を採用せし處、取扱上成績の佳良なるのみならず、風儀衞生にも弊害あるを見ず。又昨年度に於ける交換手の數は一千百餘人月俸八千餘圓を支拂ひたりと云ふ。

◉出産と婚姻　評議員伯爵夫人柳澤秀子は、去にし廿日男子分娩○有島評議員の令孃は、高木評議員の令息と去にし廿一日、結婚式を擧げられたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



美術蒔繪櫛笄

柳の髪のうるはしきに眺めを添ふる月ならで四季を通ぜぬ櫛笄は花紅葉いろ〳〵候へど今般新製致せしは黒鼈甲又は四方張を以て流行の中京形に造り是に諸大家の意匠を凝せし名花山水其他の模様を蒔繪せしもの又は寄貝寳玉類を彫刻嵌入せし佳麗の品なれば世の貴婦人方は流行に後れ給はぬうち御注文あらんをな

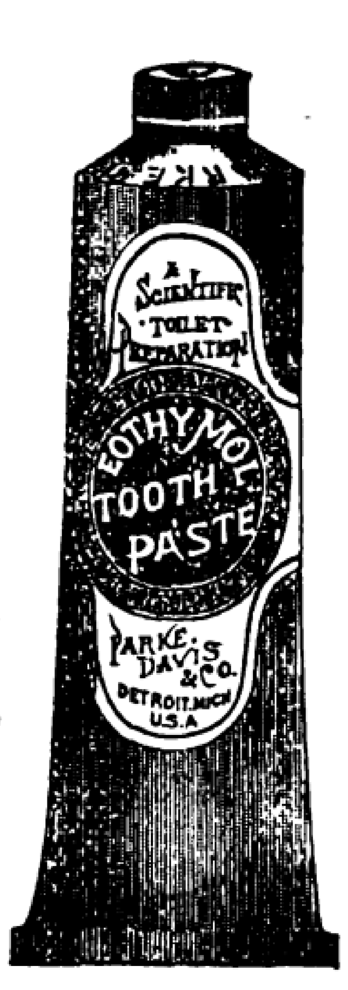
黒鼈甲臺一組價
十圓十三圓十五圓
廿圓以上五十圓迄
四方張臺一組價
三圓五圓六圓八圓
十圓以上十三圓迄

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
松田幸治郎
電話新橋五百五十一番

夏着物

服地、シャレー、其他英佛國更紗、各種造花、羽根、手袋、沓下、レース絹木綿各種、ヘヤピン、サイコーム、ハンカチーフ、日傘、シャツ、リボン化粧品其外小間物一式
●婦人御袴地（海老紺、牡丹、紫紺）
●帽子フランネル洋服等御好に應じ調進仕候

東京市麹町區麹町二丁目七番地
八木屋號　大國市藏
御小賣商　電話番町七四二



オイチモール　煉齒磨

現時消毒防腐藥トシテ完全無欠ナルモノ之ヲ「オイチモール」トナス
本煉齒磨乃チ「オイチモール」ヲ基礎トシテ精製セルモノ其顯著ナル藥効ト佳快ノ芳香トハ共ニ本品獨得ノ長所ニシテ彼ノ滔々タル齒磨粉ノ比ニ非ス故ニ苟モ齒牙ノ衛生ヲ重ンジ其純美ヲ希ハヾ本品ニ寄ルノ外ナシ
本品ハ今ヤ歐米上流社會日醒ノ友トシテ愛用セラル、者豈度本品ヲ試用セバ又他ヲ選ブノ勇ナシトハ實驗家ノ賞言ナリ希ハ御試用ノ榮ヲ賜ラン事ヲ

米國パークデビス製藥會社代理店
東京市日本橋區南茅場町二番地
三共商店藥品部
電話浪花八十六番

家事衛生

正四位勳三等醫學博士　三宅秀先生著
大日本女學會發行　日本女子大學校教科書
總クロース綴ぢ金文字入り菊判二百四十頁　定價金六十錢　郵税金六錢

此書は文部省學校衛生顧問内務省中央衛生會委員元醫科大學部長なる三宅博士が文部省の囑托により講義されたるものなり書中に衣服食物住居育兒看病の五編ありて我國一般の民度に應じ何れの家にても實行に差支なき様懇切に説示されたり世に類なき家庭主宰者の寳典なり

●賣捌所　東京神田區一橋通町七　有斐閣

文藝界

第十七號　五月十五日發行　定價三十錢　郵税二錢五厘

（小説）
●悪魔　國木田獨歩
●親子　德田秋聲
●浴泉　松居松葉
●影法師　青木鶴川譯
●山靈　三島霜川

（雜錄）
●相撲雜記　三木愛花
●五月大相撲豫評　上司子介
●養阿餘錄　平尾不孤
●孤棲雜記　白面生?
●中村梅玉　木崎好尚
●明治座四月狂言　木猿公?
●藝人月旦　岡鬼太郎
●女義太夫氣焔錄　△×生
●藝者のまじない　双角牛?
●夏の髪かざり　流行先子?
●蟲うり　浮世爺

口繪
●新綠（石版色刷）結城素明筆
●惡魔（石版色刷）梶田半古筆
●舞姫（木版色刷）勝川春章筆

（寫眞版）
▲泰西名畫＝モナリサ
▲懸賞寫眞三葉
▲第十四回繪畫共進會逸品＝王陽明＝常神＝朝
▲東京風俗＝牡丹と少女＝靜＝外三面

（俗謠）
●淺草公園　天眼老人
●一日上り　三遊亭遊三
●三題ばなし　橘家圓喬

○○大懸賞和歌披露

（新錄）
●新綠（木版一頁大畫）　滿谷國四郎筆
●月評　文學士佐々醒雪
●四月の研究　齋藤吊花
●五里霧中に迷へる日本の繪畫界　金子堅太郎
●沙翁の故園を訪ふ　土肥春曙
●清元節瑠璃落人評釋　中根淑
●藝人の面影　野田まつ子
●春風吟　落葉ま子
●俳句　諸家
●有聲畫　藤井紫影
●パリシナの恨　文學士桑田春風

發兌　東京本町　金港堂書籍株式會社　賣捌　全國特約

婦女新聞

定價　一部金三錢　▲一ヶ月十二錢　▲三ヶ月三十七錢　▲半年七十二錢　全國無郵税

發行所　東京市牛込區東五軒町四十一番地（電話番町千三百六十番）　婦女新聞社

每週月曜

五月十日第三週年の紀念號を發行せり

總裁東伏見宮依仁親王妃周子殿下

私立大日本婦人衛生會會員募集

●衛生の源は家庭にあり家庭を司どるものは婦人なり、故に家庭の衛生は婦人の研究すべき所なり、本會は全國婦人の間に衛生の必要を自覺せしめ衛生をして實行的のものたらしめ以て家庭の健康を増進し國家に酬ゆる所あらむとす今回其規模を擴張し機關雜誌を改良し大に會員を募て遍ねく幸福を頒たむとす同好の諸姉は入會手續によて至急御申込あれ

東京市牛込區矢來町三番地
私立大日本婦人衛生會

夏半ゑり帯揚

絽縮緬絽絹縮絽壁絽地數種
○染模様しぼり形帯片側○夏單帶○裾模様け出し○別織下締め○博多だて巻下〆○絽しぼり手がら
贅澤染中形小柄浴衣地　眞岡縮木綿紅梅織地絽縮木綿

高等洗粉　顔肌美白　チエリー
○すゝめ形○ゑり治形まげ入　おろし小賣
發賣元　本舗　大瓶金參拾錢　小瓶金拾貳錢

新橋竹川町十二　電話新橋二〇二七　ゑり治商店

醫院案内

院長　醫學博士　榊順次郎
婦人科産科榊病院
診察午前　入院隨時
東京麹町三番町卅三　電話番町三百九十五

●水原産科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局十七百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

東京小兒科院
駿河臺西紅梅町（電話本局一九五五）
院長　醫學博士　瀬川昌著

東京産科婦人科病院
神田駿河臺袋町（電話本局四三四）
院長醫學博士　濱田玄達
副院長醫學士　辻高俊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂　神田區表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目

東京日本橋區長谷川町
卸部　美濃磯本店
電話浪花二千八百五千九番
電信略号　ミイソ

㋯　美麗袴專門

男女用　袴の親玉

小賣部　東京本郷區本郷五丁目十三番地
美濃磯支店
電話本局千四百十五番

第二版　女訓之栞
日本女子大學校教授　三輪田女學校主　三輪田眞佐子著
和装全一冊正價金四十五錢郵税金六錢

増訂　女子手紙之文
華族女學校教授　小野鵞堂書
和装全一冊正價金四十錢郵税金四錢

女子習字　ふみの山
華族女學校教授　坂正臣著并書

筆の遊きかひ
女子高等師範學校教授　關根正直著
華族女學校教授　坂正臣著并書
和装全二冊正價各金卅五錢郵税各四錢
和装全二冊正價各金四十錢郵税各四錢

第二版　日本料理法
治庖會本部教授赤堀峯翁、安西こま子共著
和装全一冊正價金四十五錢郵税金六錢

女子教科　庖結之栞
文學博士小杉榲邨校閲　齋藤園子編
和装全二冊正價金九十五錢郵税八錢

増補日用　西洋料理法
割烹主人　杉本新造著
洋装全一冊正價四十錢郵税六錢

女子消息　雁のゆきかひ
落合直文著　小野鵞堂書
和装全二冊正價各四十錢郵税各四錢

日用寶鑑　貴女之栞
東京女學館講師　國分操子編
和装全二冊正價壹圓六十五錢郵税十八錢
奏入美製正價金壹圓八十五錢郵税二十錢
●圖書目録往復端書ニテ申越アレバ呈ス

發行所　東京日本橋通一　電本四一四　大倉書店
賣捌所　大阪市前川書店同吉岡書店●名古屋市川瀬書店

全國各學校徽章賞牌ハ弊店ノ獨專業ニ有之候　價格表ハ御報次第呈送ス
日本帝國徽章商會
東京市麹町區飯田町三丁目
電話番町八百五十七番

ヴワイヲレット製
壽美花おしろい
伊勢香堂製
定價　大瓶二十錢　小瓶十二錢
定價　大瓶廿五錢　中瓶十五錢　小瓶十錢

西洋色白くなる洗劑
壽美花あらひ粉
東両國　伊勢秀　吉香堂
定價緑藍紅彩紙畳ひ鑵詰六錢五厘ホックス入三錢袋入壹錢

會員募集

第壹號　五月廿五日發行

中等教育

毎月一回發行○春秋二期増刊發行○前費一ヶ月廿五錢六ヶ月一圓六十五錢一ヶ年三圓廿五錢

青年學生に高尚なる趣味を養はしめ確實なる科學智識と穩當なる倫理知識とを與ふるを目的として起り大方の稱賛を以て迎へられたる本會の機關『中等教育』は來る七月を以て其第一期を了らむとす、よつて第二期『中等教育』は全く設備體裁を更め幾多の專門大家が各其得意の方面より一學期を説明されたる平易にして趣味多き諸種の講話を中心とし趣味ありて且修學の參考となるべき雜錄譚叢及懸賞作文等の諸欄を添へ毎號讀切一ヶ年完結の仕組を以て世に現るべし初號發行近きにあり最も入會に適す有志の士速に申込べし

◎講話科目及擔當講師の概要左の如し

（修身）文學博士坪内雄藏、（國語漢文）關根正直、佐々木信綱、文學士岡田正美、文學士久保天隨其他、（歴史）文學博士坪井九馬三、理學博士坪井正五郎、文學博士三上參次、文學博士箕作元八、文學博士原勝郎、浮田和民其他、（動物學）理學博士石川千代松、理學博士渡瀬庄三郎、理學博士丘淺次郎、理學博士五島清太郎、理學博士箕作佳吉其他、（植物學）理學博士松村任三、（鑛物學）理學博士神保小虎其他、（物理學）理學博士長岡半太郎、理學博士本多光太郎其他、（化學）理學博士櫻井錠二、理學博士池田菊苗、理學博士大幸勇吉其他、（生理衞生）糸左近、（地理）農學士志賀重昂、（地文）理學博士横山又次郎、（法制）法學博士高田早苗、法學博士有賀長雄、（經濟）法學博士天野爲之、法學博士和田垣謙三其他、（英語）法學博士和田垣謙三、農學士佐久間信恭、井上十吉、增田藤之助其他、（數學）理學士遠藤又藏、上野清其他

◎會員には種々の特權あり詳細規則書は通知次第送附す

發行所　東京牛込早稻田　早稻田大學出版部内　中等教育會

第三卷第五號　五月十五日發行

毎月一回十五日發行
毎號紙數百四十頁
定價十五錢全國無遞送料

◎本號には癸卯園遊會に於ける世々の面影寫眞十二枚を掲く

本誌の特色

◎本誌の目的は、婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て其本分を完うせしめんことを期するに在り。されば其所説、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に闘りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は輕佻浮薄の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の装飾を省きて、専ら記事の精選を努む。◎本誌に收録する所は、普通の婦人雜誌に掲載する、文學上家政上の記事のみに止めずして、●科學の大意を掲げて、學理の概念を得しめ、●和漢洋名著の綱要を掲げて、諸書の渉獵に便せしめ、●法制理財等の事を平易にものして、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び劣等なる戀愛文字を避け、下品なる廣告を掲げず。◎本誌讀者は、みやび會員となり、其歌・文を本會に寄附して、名家の批評添削を受くることを得。◎本誌は勤儉貯蓄の美風を奬勵せん爲に、毎號懸賞貯金切手を附して、其模範を示す。

發行所　麹町下二番町三七　電話番町（一三三〇番）
大日本女學會

第二卷第五號

少女界

口繪

●少女の旅行　●青葉若葉　●美しき少女　●春の行衛

ぷらんこ（石版色刷）　東京堀切の菖蒲　鏑木清方書　▲肥前平戸の捕鯨　▲山根醫學士の家庭　▲大阪淀川外數葉

●波上の花　白萩女史
●山の魔女（下）　高階柳蔭
●かなりや（理科お伽噺）　桂南園
●加賀の千代　梅生
●小笠原島の地理　小島蓬城
●少女歌會　服部躬治
神谷鶴伴　琴子　藤本夕飈　齋藤素影

●懸賞和歌募集
●お伽噺竹取物語　新保一村
●牡丹（唱歌）　服部躬治
●少女室内遊び　西村渚山

●令嬢鑑
●水族館花屋敷　鶴春
●一日旅行
●少女日記
●考物なぞ〳〵
●二葉俳句
●工夫書
●外面　伴子
白きもの澤山

五月十一日發行　定價一冊十錢　郵税一錢五厘

發兌　東京本町　書籍株式會社　金港堂

明治三十六年五月廿五日發行（毎月十日廿五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄
發行所　大日本女學會内

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

愛國婦人第三十號附錄

LIBRARY·IMPERIAL 帝國圖書館

明治三十六年五月廿五日發行（毎月十日廿五日二回發行）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

愛國婦人會和歌山支部職員の寫眞

（本紙記事參照）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　大日本女學會内愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場